

補助金等比較シート

コード 6-2-8	事務事業名 老人クラブ等助成事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	---------------------	---------------------

事務事業の概要	事務事業の目的(市が補助金を交付する目的)	
	市内の老人クラブ及び単位老人クラブが行う活動に対して、事業費の一部を補助することにより、その円滑な執行を図る。	
	補助対象の概要(団体名称、団体の活動内容、補助金の活用内容等)	
補助の対象:老人クラブ・老人クラブ連合会 補助団体の活動内容:社会奉仕活動(友愛活動)(施設訪問・美化活動等)・健康を進める活動(ゲートボール・輪投げ等)・生きがいを高める活動(カラオケ・民謡等)・その他の社会活動(役員会・研修会等)		
事業開始時期	合併前から	補助金の概要 (国・都基準の有無、対象者拡大の有無、上乗せ補助額、市単独補助額等) 補助基準額の内国1/3 都1/3の補助事業 単位老人クラブ 288,000円(月24000円) 会員割1,200円×会員数 老人クラブ連合会年額 2,000,000円 活動内容:社会奉仕活動、健康を進める活動、生きがいを高める活動等

指標	活動指標名 単位老人クラブ数	活動指標の考え方(定義) 単位老人クラブのクラブ数
	成果指標名 1次 老人クラブ会員数	成果指標の考え方(定義) 1次 老人クラブ会員数
	1次	1次
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	補助金の財源内訳(A)	千円	19,574	19,477	20,016	20,558
	国庫支出金					
	都支出金		9,004	9,000	9,179	9,302
	地方債					
	その他					
	一般財源	10,570	10,477	10,837	11,256	
活動指標	実績値	クラブ	48	48	49	50
活動指標	実績値					
1次成果指標	実績値	人	3,125	3,044	2,969	2,935
1次成果指標	実績値					
2次成果指標	実績値					

事業環境	26市の補助金水準との比較 (同様の補助金の金額、補助率等)	調布市30,000円(月)、町田市22,800円(月)、小平市22,400円(月)会員一人250円(年)、東久留米は当市と同額	26市の水準比較 <input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下
	問題・課題	元気高齢者が増えているため、老人クラブに加入するよりも、独自又は気の合う仲間と生きがい推進を模索している高齢者が増えている。	
	代替、類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替、類似サービス内容

コード 6-2-8	事務事業名 老人クラブ等助成事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	---------------------	---------------------

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>成果指標として、高齢者人口に対する老人クラブ加入率を把握する必要がある。高齢者の社会参加を促進するためにもクラブの活性化及び加入率の向上が課題である。「老人」クラブという名称も今後団塊の世代が対象となる時期を迎え再考する必要もある。</p> <p>庁内の健康事業、コミュニティ事業などと一体として、今後の高齢者支援のあり方を再検討する必要がある。</p>
------	---	--

行革本部 評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者に対する社会の意識や位置づけが変わりつつあることから、二次評価を踏まえつつ、当概事業のあり方について検討するとともに、補助のあり方についても改めて見直す必要がある。</p> <p>また、庁内においても、元気高齢者の支援事業については類似事業が多くなされているため、あわせて、この点も整理を要すると思われる。</p>
------------	---	---